

No.	評価対象施策名	所管部局
8	国際交流による多文化共生と地域間連携の活性化	企画総務部、市民部

● 施策評価の実施（第4回京丹後市行政評価委員会における意見の要旨）

（所管部局から資料「施策評価・進捗管理調書」に基づき説明）

委員 長 この調書を作成した時点では、施策の進捗状況を「予定どおり進んでいる」と評価されていますが、先ほどの説明では、現在、急に動きが活発化してきた状況で、予定以上になってきたかもしれないというような補足説明がありました。

資料としてお配りいただきました京丹後市多文化共生推進プランについて、かなり多様な取組が記載されている中で、これらの取組は、1番の「国際交流活動推進事業」の中で取り組んでいくことになるのでしょうか。

所管部局 はい。

委員 長 事業費としては、増えていくのでしょうか。

所管部局 京丹後市多文化共生推進プランでは、12の基本方針を掲げ、更にそれを細分化した23の施策を掲げており、具体的な施策としてより細かい取組内容を掲げていますが、それぞれを企画政策課で取り組むものではありません。

例えば、医療分野の市立病院における問診票の多言語化については医療部で、公立小中学校に関する多言語での情報提供については教育委員会で対応するという形で、いろいろな部署でこの多文化共生推進プランに基づいた取組に応じた予算が組み立てられていくことになります。

全ての取組がこの「国際交流活動推進事業」で取り組まれるのではなく、それぞれの取組の所管部署で取り組むことになります。

ただし、ソフト的な取組が多いので、全体的にもそこまで多くの事業費が掛かるものではないと考えています。

委員 長 ありがとうございます。

それでは、PLANの部分、施策の目的や施策の方針、個別計画として掲げられている多文化共生推進プランについて、御質問や御意見等がいただければお願いします。

委員 良いプランだと思います。

委員 網野町島津で米軍関係者の居住施設の建設が進んでいるという話がありますが、たくさんの外国の方が来られた際の対応は考えておられるのでしょうか。

所管部局 多文化共生推進プランは、Xバンド・レーダーが稼働する少し前から作り始めました。

日米地位協定の関係もあるので、米軍関係者を多文化共生推進プランにおける外国人住民の対象にしないケースもあるようですが、プランを策定した委員会でこの辺を議論した結果、委員会では、これらの人たちも考えた上でプランの策定作業を進めていただきました。

多文化共生推進プランでは、「安心して生活ができるまち」「言葉の壁を乗り越えるまち」「フレンドシップを育むまち」「国際色豊かでにぎわうまち」という4つの目標を掲げています。

このうちの「フレンドシップを育むまち」「国際色豊かでにぎわうまち」という辺りや米軍関係者にも当然人権がありますので、そういった部分も考えてプランに盛り込んでいます。

委員 事件が起きた際には、日米地位協定などの難しい問題があると思いますが、交流ということに関しては、どんどん進めていただき、少しでも良い雰囲気が出るようなまちづくりを進めていただければありがたいと思います。

所管部局 多文化共生推進プランの作成にあたって、外国人市民249人、日本人市民3,200人を対象にアンケート調査を行いました。

その結果、外国人市民の約7割の方から「これからもずっと京丹後市に住む」と回答いただきました。

また、約8割の人が外国人との関わりで困った経験が無く、約6割の人が外国人が増えることに対して肯定的という結果が得られました。

ただし、外国人との関わりで、大きな壁は言葉の違いとなっていますので、誤解なども生まれているのかなとも思っています。

また、約7割の方から外国の習慣やしきたりを尊重すべきと回答いただいております。習慣やしきたりの違いは一定認めておられることが伺えます。

そのため、京丹後市に外国人が来られた際に京丹後市のしきたりに従うべきということではなく、お互いを認め合いましょうという気持ちの人も多い

のかなと考えています。

委員 長 多文化共生推進プランを作られ、また、米軍関係者が約160人居住し、外国人が増えたという時期を捉えて、日本人市民と触れ合っただけでなく取組に力を入れて行うべきではないかということの評価の中に入れてはどうかと思います。

所管部局 観光地ということでインバウンドにもがんばって取り組んでいくこととされていますので、外国人に活躍していただけることが、今後、必要という考えもあって、そういった視点も含めて、多文化共生推進プランを作りましたし、検証していくこととしています。

そのため、単に外国人と仲良くするだけではなく、今後の地域社会の担い手というような感覚で捉えさせていただいています。

委員 長 自治体によっては、観光の施策でブロガーを呼んで情報を発信してもらう取組をしているところがありますが、居住している外国人市民に情報発信してもらい、外国人を呼び込んでもらうと結果も出てくると思います。

委員 長 次にDOの部分について、御意見、御質問等があればお願いします。

委員 4番の「森の全国交流拠点管理運営事業」のツリーハウスについてお尋ねします。

この施設を建てられた際には、交流もあったと思いますが、現状では、観光施設の一環のようにも思えます。

所管部局 風蘭の館という指定管理施設があり、ここを訪れられた方がツリーハウスを利用するということが多いように認識しています。

また、現在、蒲井、旭の2つの地域が一緒になって地域の活性化のためのまちづくり計画の作成に取り組まれています。

そこでは、シーカヤックで海を散策するというようなことを検討されていますので、シーカヤックなどを活用してツリーハウスに立ち寄るような形ができないかなと考えています。

また、域学連携の取組として、大学生がこれらの集落に入って、事業を実施しています。

ツリーハウス付近の海岸線にごみが溜まって、景観が悪かったのですが、この大学生が2回程、ボランティアで清掃してくれました。

委員長 風蘭の館と一体的に管理されているようなので、位置付ける施策を風蘭の館の管理事業と同じところにしてはと思いますし、そのほうが分かりやすいと思います。

委員 京丹後市は外部に出て積極的にPRされているという印象を持っている中で、3番の「友好都市交流事業」でも、木津川市に行かれています。

木津川市に限りませんが、逆に外部から京丹後市にこられてイベントに参加されるケースはあるのでしょうか。

所管部局 友好都市盟約を結んでいるのは、木津川市だけになりますが、行政同士では、尼崎市へ市の観光部署が行ってPRしたり、逆に尼崎市から本市に来られたりということがあります。

そのほかにも、名古屋市とも交流の取組を行っています。

委員長 委員の質問の趣旨としては、京丹後市から行くだけではなく、木津川市からも来てもらえないのかということだと思います。

所管部局 平成24年度の取組にはなりますが、久美浜まるごとプロデュース協議会というまちづくり団体が木津川市からのモニターツアーを実施し、京阪神から京丹後市に来てもらうためのいろいろな御意見をいただくなど、情報交換をしていただきました。

また、夏には木津川市から京丹後市に来てもらって少年野球大会を実施しています。

委員 仕事で蒲井、旭地区に行くことがあり、海を見たのですが、すごくきれいでした。

こういったものは、見ていただかないと分からない部分があるので、どんどん京丹後市にきていただき、見ていただいて、そしてそれを持って帰ってもらってPRしてもらいたいと思います。

委員長 ほかいかがでしょうか。

委員 木津川市に限らず、いろいろなところと交流していただくのは、観光業者にとってはありがたいことと思われまので、どんどん進めていただければと思います。

委員長 調書では、予算が付いている木の津まつりしか出てこないのですが、どうしても目立ちます。

決算に基づいて調書を作成していただいているのでやむを得ない部分もありますが、もう少し、予算を伴わない事業のことも記載があると、分かりやすくてありがたいです。

所管部局 企画政策課では、行政的な交流を担っています。

観光での交流は観光部署が担っていますし、経済面での交流は商工部署が担っており、実際に様々な取組や交流が進められています。

調書に記載されている内容は、行政的な交流と捉えていただければと思います。

委員長 友好都市というようなことですね。

所管部局 はい。

観光や経済における交流のための基盤と理解していただければと思います。

委員長 総合計画を作った際に、地域間交流について、こういった取組を想定していたのかという部分で整理すべきだと思います。

所管部局 交流先の自治体とどのような交流ができるのかということで、観光であったり、経済であったりと分かれていくことになります。

委員長 わかりました。

ほかにありませんか。

委員長 国際交流協会で、ホームページやフェイスブックで情報発信をされていますが、業務が多忙なのか、ホームページの更新が止まっているように思われます。

こういった体制になっているのか、もう少し頻繁に更新されたほうが効果も上がるのではないかと、いっそ多言語発信ができないのかとかと思いますが、いかがでしょうか。

所管部局 国際交流協会の事務局は、職員が一人体制で運営されています。

本日資料としてお配りした国際交流協会の事業報告に記載しているような大変な事業をこの一人の職員が担当されています。

正直、これだけの事業を一人でされるのは大変だと思っています。

国際交流協会には理事を始めとした役員がおられますので、事業の当日はお手伝いいただいておりますが、企画して、発信・募集してというような部分は、お一人でされています。

そのため、インターネット上での発信までなかなか手が回らない状況なのかなと思っています。

ただし、携帯電話などを活用しながら、フェイスブックで頻繁に情報発信をされていますし、理事の方々も一緒に発信していただいています。

委員長 ニュースレターを年間4、5回発行されていますので、これも大変かなと思っています。

所管部局 市の広報紙にも国際交流協会のコーナーを設けています。

その記事も担当されていますので、大変かと思います。

委員 ホームページがあるのに更新されていないというのは、世間的に批判される的になりがちなので、何とか対策を御検討いただけないかと思います。

また、ツイッターやフェイスブックでの情報発信や多言語発信については、ボランティアでしていただける方がいないかということが、当面、お金を掛けない方法としては考えられます。

所管部局 国際交流協会では、日本語教室を協会に登録しているボランティア講師にお世話になって行っています。

ただし、ボランティアの方にお世話になる事業は、長続きさせることが難しいという課題もあり、ボランティアでの事業実施には限界があると考えています。

ボランティアの方の交通費などが払えるような仕組みでないと長続きしないということで、日本語教室では、最近1回当たり300円の参加者負担を求めています。

また、協会会員は、少し安く100円という形にして、長続きする仕組みを考えています。

委員長 そうやって、受益者負担を求めることは良いことだと思いますし、有償ボランティアがあるということも、先ほどの説明を聴くと、良いお話だと思います。

ほかに御意見などはありませんか。

委員 会費は、いくらもらっておられるのでしょうか。

所管部局 年会費は、個人会員は1口2千円、団体・法人会員は1口5千円をいただいています。

委員長 会員になるとどういったメリットがあるのでしょうか。

所管部局 お手伝いいただくことも多いのですが、交流会の際に安く参加ができるなどの特典があります。

また、外国の楽器でのコンサートなど人気がありますが、会員は無料にするなどの特典を設けています。

所管部局 会員に関しての問い合わせも多いのですが、いざ、お金を払うということになると躊躇ちゅうちよされる方も多いです。

もう少し会費を安くしてはどうですかということも言われています。

委員長 会費を薄くして、広く集めて、トータルの会費は厚くいただくということですね。

所管部局 はい。

協会の運営は、日本人だけではなく、外国の方にも入ってもらったほうが良いということで、昨年からは外国出身の方に理事になっていただきました。

また、2千円の会費で会員が約150人というのは、結構多いほうだと思っています。

委員長 会員にならなくても事業に参加できる中で、2千円を払って会員になっていただいているというのはありがたいことではあります。

質問は、尽くされたということで、委員の皆さんよろしいでしょうか。

委員 はい。

委員長 それでは、ヒアリングは以上にしたいと思います。

(所管部局退室)

委員長 プランもできて、市内に居住する外国人も増えて、今が力の入れ時みたいになっているということであつたということによろしいでしょうか。

事務局 事務局から2点確認させてください。

施策の進捗状況については、所管部局の評価結果はおおむね妥当という委員会の評価になるかと思えます。

一方、所管部局の先ほどの説明では、評価した時点では予定どおり進んで

いるという評価だったが、現状では予想以上に進んでいるということでした。

この部分の委員会の評価としては、内部評価を行った時点では確かにおおむね妥当ということなので、ほかの施策と同じようにおおむね妥当であるとしてとどめておくべきか、それとも、予想以上に進んでいることについて触れるべきでしょうか。

委員長 平成26年度の時点では、計画どおりプランもできて予定どおり進んでいるということかと思います。

その上で、米軍経ヶ岬通信所の関係で外国人も増えてきて、プランもできたところで、いろいろ取組も進めているので、順調なようでもあり、一層力を入れるようなことを委員会としても言っていたとしてはどうでしょうか。

事務局 歳出抑制の部分についてですが、今回の施策では、所管部局からの歳出抑制の考え方がありません。

この部分については、所管部局から歳出抑制の考え方はなかったけど、それはそれで妥当というような内容で整理させていただいたら良いでしょうか。

委員長 やむを得ない場合は、4番の「友好都市交流事業」を一時休止してはどうかというのが考えられます。

ほかにも、ツリーハウスの管理を一時休止してはどうかということも考えられます。

委員の皆さんいかがでしょうか。

委員長 ツリーハウスについて書くと、ツリーハウス自体を廃止したほうが良いと受け取られる可能性があります、委員会ではそこまでは言っていません。

なので、友好都市交流事業だけにしましょうか。

委員 そうですね。

委員長 それでは、やむを得ない場合は、友好都市交流事業を見直すことを検討してはどうかという表現で整理してください。

● 前回委員会評価対象施策の再評価及び評価のまとめ（第5回京丹後市行政評価委員会における意見の要旨）

（所管部局から資料「委員会意見に対する所管部局補足説明・意見」に基づき説明）

委員長 まず、「2 施策の進捗状況について」の部分について、「外国人」という

表現を「外国人市民」に修正すべきという所管部局からの意見については、それで良いと思います。

ただし、前段の「米軍経ヶ岬通信所の設置に伴い市内で生活する外国人が増加している」の部分について、米軍経ヶ岬通信所に来られている人とうまく交流していただければという趣旨でしたので、そのことが伝わるよう、また、後段の文章にうまくつながるよう事務局で整理をお願いします。

後段部分については、なるべく予算を掛けないよう、かつ、多文化共生推進プランの趣旨に沿った中でもっと何かやってもらえることがなかったですかという趣旨で発言したと思います。

多文化共生推進プランの内容を変えてくださいという趣旨ではありません。

「同プランの具体的施策に沿って推進されることを期待する」という表現のほうが適当ではないかという所管部局からの意見について、プランの具体的施策だけ取り組めば良いということでもないと思います。

お金を掛けてまで取組をする必要はありませんが、何かできることがあれば無理のない範囲で取り組まれたらどうですかというくらいの話だったと記憶しています。

プランに記載されている主要な取組を進めていくだけで、かなり大変という実情があるということですね。

所管部局 はい。

プランの策定に当たっては、いろいろな団体にプラン策定委員会へ入っていただいて検討してもらっています。

プランについては、P D C Aサイクルに基づき、毎年チェックを行い、必要に応じて見直すこととしています。

その中で、もっと注力すべきことが出てくると思います。

したがって、その仕組みの中で、注力する取組などについても議論すべきと考えます。

委員長 次に見直しをされる際にこういったことも検討してはいかがですかと、交流しないよりも交流したほうがいろいろな意味で良い結果になると思いますということを意見として言っている訳です。

直ちにとか、必ず取り組んでくださいとか、やってないからおかしいとい

う趣旨ではありません。

所管部局 そのことはよく分かります。

外部評価結果（案）として記載されている「より一層注力していくべきである」という部分をどう捉えるかということです。

正直、この部分については、相当注力していますが、委員会からは何か足りない部分があるという趣旨の指摘なのかなと受け取っています。

委員長 そういった趣旨ではありません。

平たく言えば、米軍経ヶ岬通信所に米軍関係者が多く生活をしているので、一生懸命交流したほうが、むしろ良い方向に進むのではないかという趣旨になっています。

所管部局 既に国際交流協会で、ハロウィンや米軍の方と英語で会話をするようなイベントなどいろいろな交流イベントを企画しており、子育て中の家族の方などからかなり申し込みがあります。

すぐに定員に達してしまうような状況であり、市民の方も関心を持っており、事業には取り組んでいるという実態があります。

委員長 分かりました。

では、プランに沿ってというより、活発に取り組が行われているということ踏まえて書き、今後もこの調子で続けてくださいという趣旨でしょうか。

所管部局 プランの施策に基づき国際交流協会も動いているという部分があります。

委員長 私もどうしてもこの表現で記載したいというほどのことではありません。

所管部局 そういう意図は十分理解できますが、具体的に何かが足りないという指摘のように思えます。

担当部署としては、一生懸命やっていますがまだ足りないという指摘のように捉えてしまいます。

プランの細かい施策に沿うということではなく、プランの大きな方針や目標に沿って一生懸命やっていくということです。

委員長 他の委員の方に異論がなければ、私の気持ちとしては「より一層注力すべき」という表現はやめにして、「外国人市民との交流事業について、同プランに沿って引き続き推進されることを期待する」というような表現にすることで問題ないと思います。

委員 良いと思います。

事務局 先ほど、「外国人」を「外国人市民」という表現にというやり取りがありました。

経ヶ岬通信所により増加した外国人の方を「外国人市民」と修正した場合、この表現が的確かどうかという部分があると思います。

所管部局 「米軍経ヶ岬通信所の設置に伴い市内で生活する外国人が増加しているこの時期を施策推進の一つの機会として捉え、日本人市民と外国人との交流事業について、より一層注力していくべき」の後段の「日本人市民と外国人との交流事業」の「外国人」の部分について、「外国人市民」にしてはということだったと思っています。

前段の「米軍経ヶ岬通信所の設置に伴い市内で生活する外国人が増加している」の「外国人」の部分は「軍人・軍属」に変えられたほうが良いかもしれません。

委員長 そうでしたら、前段は「市内で生活する軍人・軍属が増加している」とし、後段の部分は「外国人市民」とすればと思いますが、この部分は、事務局で御検討いただくことします。

次に施策展開の（１）の国際交流協会のホームページの更新されていないので、定期的な更新を協会に促すべきという意見についてです。

市から運営補助を出している中でホームページの更新をするのは協会の責任であると思ったので「促すべき」という表現になっていますが、それは違うのではないかとこの所管部局からの意見です。

実際にはやむを得ない事情があって更新できないという説明を聞きましたので、仕方ないと思っています。

所管部局 促すことはいくらでもできますが、それが施策展開になるのかと考えています。

何らかの政策的な手立てが必要ならそういうことの記載が必要かと考えています。

委員長 促すだけでは無理という御判断をされるのであれば、そういうことも有るかと思っています。

所管部局 国際交流協会の会員の方には、日本語教室の開催やイベントの当日のボラ

ンティアという形での協力は今もしていただいています、ホームページを作成、管理してもらうなど日常的に関わってもらえるボランティアの確保は難しいと聞いています。

委員長 ホームページの更新をされるためには、一定の予算措置をした方が確実にということでしょうか。

所管部局 多言語の対応やスマートフォンへの対応などしっかりしたものをしようと思うと、専門的な知識等を持ったところを作っていくことになるかと思えます。

所管部局 今、フェイスブックを活用して情報発信をしています。

フェイスブックにより情報を発信しているので、逆にホームページの必要性が低下しているという部分もあります。

ただ、フェイスブックは登録している人しか見られないということもあります。

委員長 委員の皆さまの意見はどうでしょうか。

主に告知や交流が目的ならホームページでなくフェイスブックでも良いのではないかという判断もあると思います。

やるからには、ホームページについてもお金を掛けてしっかりしないと難しいというのが所管部局からの説明です。

委員 ホームページは確かにお金が掛かるだろうと思います。

委員 そこまでお金を掛ける意味があるかどうかだと思います。

委員 ホームページはあるに越したことはないと思います。

委員 フェイスブックのほうが使い勝手は良いのかとは思いますが。

委員長 委員の皆さまからも、ぜひホームページを作成するべきという声もないので、今後の在り方について検討してくださいというトーンになろうかと思えます。

委員 市が行っている運営助成の積算の中にホームページの更新も含まれているという思いがあったので、こういう表現になったと思っています。

所管部局 ホームページの更新が補助の対象として明記されているなら、促すべきでなく、補助金をカットしないといけなくなります。

委員 ホームページ単独の補助金ではないのでということですね。

委員 ホームページのランニングコストも掛かるとは思いますが、それも補助金の項目には入っていないのでしょうか。

所管部局 入っていません。

委員長 では、(1)については、ホームページが更新されていないことから今後の検討課題という整理でお願いします。

次に(2)のボランティアの方に協力してもらって国際交流協会のホームページやフェイスブックの更新を行ったり、これらの多言語化をしたりするよう促すべきという部分についてです。

難しいでしょうか。

所管部局 理事や会員の方が投稿されますし、そういうことはできていると思います。

委員長 多言語化については、どうでしょうか。

所管部局 多言語化については、協会からの発信ではそこまでできていません。

委員長 イベントに参加された方で、英語などで発信してくれるように頼んではどうかということですが、どうでしょうか。

所管部局 フェイスブックなどで外国人の会員の方に情報発信をしてもらったかどうかというくらいのことでしょうか。

どの辺りまで情報を発信するかという部分だと思いますが、市内におられる日本人市民と外国人市民を対象に様々な手段で情報が届くようにはしていますが、広く対外的に発信するものは現状ではありません。

委員長 多言語化しなくても既に伝わっているということでしょうか。

会員の方に頼んで、情報を書いてもらい多言語化してはどうかということですが。

所管部局 お金の無い中で、それぞれの母国語での情報は届くようにしないと行けないと思いますし、そういう仕組みは持っています。

委員長 予算を付けて外部に発信するというほどのことではないのですが、フェイスブックなどで英語や中国語で発信できれば良いと思います。

所管部局 現在、ボランティアの方に国際交流協会の事業をお世話になっていますが、ボランティアでの体制には限界があり、現状ではしんどい部分があります。

委員長 そこまでおっしゃられるようであれば、委員会の意見そのものをばっさり無くしてもらって結構です。

次に、歳出抑制のアイデアとして提案している国内の自治体との交流事業である友好都市交流事業について休止してはという部分ですが、今すぐ休止してくださいということではありません。

所管部局 何らかの形で交流先の自治体に伝わると失礼に当たるのではないかと思います、心苦しい部分があります。

委員長 我々の委員会の役割として、歳出を抑制しなければならないとなったときのアイデアを市民の意見として挙げているものです。

委員長 次にその他の部分についてです。

(1) のツリーハウスの管理運営事業をこの施策ではなく観光施策に位置付けるべきという委員会からの指摘に対し、所管部局からは現状で観光施設として位置付けているというお返しがありましたので、外部評価結果(案)の内容のままで結構かと思います。

(2) の地域間連携の取組について、関連する施策はしっかり記載すべきという委員会からの指摘についても、所管部局から御意見があるようですが、御意見は伺ったということで、外部評価結果の表現等を工夫するという事で意見そのものは残したいと思います。

他に意見がなければ、再ヒアリングはここまでとさせていただきます。